

【FAQ に 『デーツはいつごろから栽培されていたのか?』を追加いたしました。】

FAQ デーツはいつごろから栽培されていたのか？

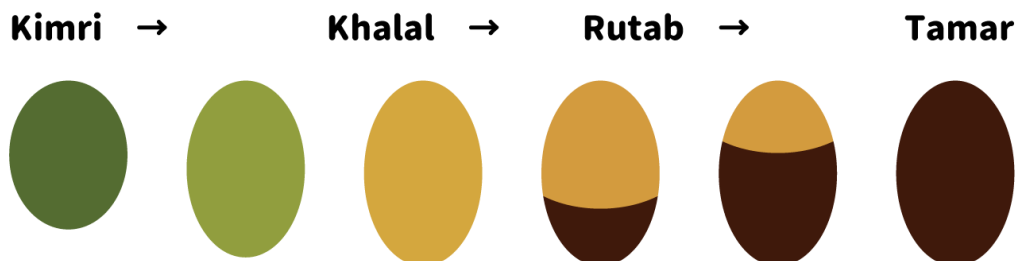


デーツはもっとも古くから栽培されている作物の一つで、イラク（メソポタミア）での最古の記録では紀元前 3,000 年ころには、恐らくすでに栽培されていたことが示されています。デーツヤシは有史以前にエジプトでも存在していましたが、エジプトではデーツを栽培することが重要ではなかったため、イラクよりも少し遅れて栽培が始まりました。デーツは長い間、西イラクからアラビア、北アフリカの先住民にとって主食でした。

デーツ栽培の成功には、果物の発育と熟成のために、冬季の穏やかな気温と長く暑い夏が求められます。また、夏の終わりや秋には、果物の熟成と収穫時のロスを少なくするために、少量の雨と低い湿度が要求されます。このようなことから、暑い乾燥した砂漠気候が世界のデーツの供給のほとんどを生み出しています。

デーツヤシは、布教の地の周辺でデーツの種を蒔いていた初期のスペイン人宣教師によって西半球に持ち込まれました。18 世紀後半或いは 19 世紀の時期に栽培された、これらの元のデーツヤシのいくつか或いは（交配などによって）分派した残りは、南部カリフォルニアとメキシコ国境の下で、いまだ見られます。

余談：デーツの成長過程の分類



※イラストはイメージです。モニタによって色合いが異なる場合があります。

1 段階 -Kimri-

- ・ふくれと緑
- ・果物が最も早く大きくなり、緑の色によって見分けられる。

2 段階 -Khalal-

- ・ふくれと赤
- ・果物がほぼ最大限に大きくなったくらいに第2段階の Khalal に入る。緑色が、赤や黄又はその2色の模様の色合いによって、品種の特長を示す色へと変化する。

3 段階 -Rutab-

- ・部分的に柔らかくなっている状態から完全に柔らかくなり、赤味がかかった色から茶色がかかった色。
- ・先端が柔らかくなり始めるか Khalal の色に変色しだす（無くなり始める）と Rutab の段階に入る。

4 段階 -Tamar-

- ・柔らかく、茶色がかっていて、フルーツ（デーツ）が保存できる段階まで乾く
- ・デーツは完全に熟して乾燥し、腐ることのない状態となれば Tamar の段階になる。

引用・文献 USDA GRADING MANUAL Dates and Date products



株式会社 三海（サンカイ）

〒101-0021

東京都千代田区外神田5丁目4番9号 ハニー外神田第二ビル1F

TEL: 03-3834-1756 FAX: 03-3834-1750